

法人概要

設立年月 1998年10月
 従業員数 常勤3人、非常勤4人、その他
 事業所 こどもデイサービスすてつぷ
 (児童発達支援及び放課後等デイサービス)
 こどもデイサービスかのん

あゆみ

- 1998年 重複障がい児の親が任意団体を設立
- 2001年 NPO法人設立総会
 (顧問は元立教大学コミュニティ福祉学部教授の赤塚光子先生)
- 2002年 地域ダイグループ事業開始
- 2013年 こどもデイサービスすてつぷ開所
- 2015年 こどもデイサービスかのん開所

活動紹介

■ こどもデイサービスすてつぷ
 保育士や教育経験者が支援員となり、安心
 でほっとできる居場所作り、仲間作り、自立
 に向けて、スイミング、テニス、アート、音楽、
 戸外活動、調理他を行います。
 ● アドバイザー 小笠原 恵
 (東京学芸大学教育学部特別支援科学講座教授)

似顔絵作家の誕生



やりたいこと支援



言語療法

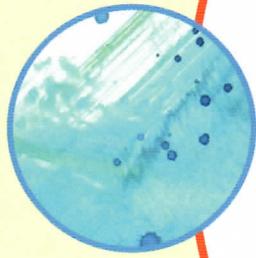


こどもデイサービスかのん

2015年2月
 NPO法人福祉ネット「ナナの家」
 理事長 皆河える子



子どもたちの作品



ごあいさつ

“福祉”は文字どおり幸せを意味するように、福祉ネット「ナナの家」は、障がい者が地域で幸せに暮らしていただける社会を願って活動しています。幸せの実感はあるがままの自分が認められることから始まるのではないのでしょうか。人が人として“差”ではなく“違い(個性)のある存在”として認められ、その個性は社会で活かされ、手助けが必要な個性には適切な支援が受けられる。「ナナの家」はそんな社会を目指していきたいと思えます。

ひとり一人の能力を高めるための発達支援は、言語、乗馬セラピーなど、専門家の指導による活動と取り組んでいます。また日常の活動は、支援方法学の専門家の指導の下、ケース会や研修を重ねながら、多様なプログラムを行っています。地域でずっと幸せに暮らしていくためには交流の機会が必要と考え、設立当初から多摩川乗馬会と取り組んでいます。

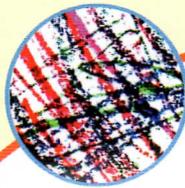
今後も、障がいの者の相談支援、地域との連携、社会貢献、広報などを大切に、柔軟な活動を重ねていきたいと思えます。

最後に、福祉ネット「ナナの家」に集まる人は、みんなこの家の創り手です。これからも皆さんと一緒に「ナナの家」を築いていきたいと思えます。

体で遊ぼう



こどもデイサービスすてつぷ



引げ馬



多摩川乗馬会

■ 重症心身障害児

こどもデイサービスかのん
 看護師が中心となり、通所生の健康管理を第一に、感覚統合や感覚遊びを通じて楽しみを広げていくことと、親ごさんのレスパイト(休息)を担っていくことを目的としています。

- アドバイザー 村井 やよい
 世田谷区重症心身障害児(者)を守る会会長
- 嘱託医 中館 尚也
 (国立成育医療研究センター総合診療部小児期思春期科医長)

■ 個別教室・療法

言語療法 指導：谷田貝肇 (言語感覚士)。個々の障がいや発達状況に応じた、咀嚼、発語から、目と手の呼応コミュニケーション、学習指導の他、ご家族の相談にも応じます。

乗馬セラピー 指導：皆河梓 (障がい者乗馬インストラクター)。乗馬の楽しみを通じて、学習や運動機能の発達を支援します。

作業療法 (準備中)

■ 交流

■ 多摩川乗馬会

障がい者と一緒に乗馬！をキャッチフレーズに、和泉多摩川河川敷で年数回開催します。マウンテンランブ(騎乗台)を使い、車椅子の方も安心して乗馬できます。

■ 家族サポート

言語感覚士の谷田貝肇先生が行う鍼灸とマッサージ。

■ 緊急一時保護施設 (狛江市委託事業)
 ご家族の冠婚葬祭や学校行事への参加時、レスパイトなどに利用できます。

■ ちよこぽろ

チョコレートを食べて、ちよこっポロランティア！モロゾフのチョコも製造する、サロン・ド・ロワイヤルの協力によるチョコレートの販売。「ナナの家」の事務所で販売、ご購入用チョコのご利用も受け付けます。

■ やりたいこと支援

会員の小さな夢から大きな夢まで、その実現を支援します。(実際例：大学進学、似顔絵作家誕生、サッカー海外観戦ツアー一他)